

2023年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A)成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	司法研究科・教授
	氏名	京 明
海外客員 教員	所属・職	英国ポーツマス大学・犯罪学及び刑事司法学部・主任講師 (2023年9月まで)
	氏名	ELLIS Kevin Thomas
招聘目的		2. 共同研究
招聘期間		2024年 1月 24日 ~ 2024年 3月 31日
成果報告 以下の内容を日本語で記載して下さい。		1. 共同研究の内容 本共同研究は、そのタイトル「日英刑事司法の総合的比較研究～英語による日本の刑事司法の発信に向けて」が示すとおり、日英の刑事司法を総合的に比較検討した上で、その成果を英語でのプレゼン、論文及び書籍の刊行というかたちで順次公表することを通じ、日英の比較刑事司法研究の体系化を試みようとするものである。これまで京とエリス氏とは何本もの英語でのプレゼン及び論文発表を共同で行ってきたが、本研究はその総決算としての意味をも有している。
1. 授業担当及び研究 (1) 授業科目名 (2) 授業担当の成果 (3) 研究の内容 (4) 研究の成果		2. 共同研究の成果 エリス氏の滞在期間中、お互いの研究室を頻繁に行き来しつつ十分に意見交換を行うことができたのは、何よりも貴重な成果の一つであるが、成果を公表するうえで重要な機会となったのは、司法研究科主催の「第34回法の理論と実務研究会」において、エリス氏を講師に招き、「英国における身体装着式カメラ (Body Worn Video Camera) の展開」とのタイトルで講演を行ってもらったことであった。同研究会は対面とオンラインを併用して行われたが、いずれの形式でも学内外から多くの参加者を得ることができ、講演後も活発な質疑応答が行われた。のみならず、同講演の内容は、法学部の紀要「法と政治」でも公表される予定となっている。具体的には、75巻3号 (2024年11月末公刊予定)、75巻4号 (2025年2月末公刊予定) 及び76巻1号 (2025年5月末公刊予定) に連載の予定で、すでに75巻3号については掲載が決定し、校正の段階に入っている。
2. 共同研究 (1) 共同研究の内容 (2) 共同研究の成果		また、本共同研究の成果は、最終的には英語の書籍のかたちで公表される予定である。具体的には、京及びエリス氏が編著者となって『Handbook of Crime and Punishment in Japan』というタイトルの書籍を、日本 (東京・神田) 所在のMHM Limitedという出版社 (http://mhmlimited.co.jp) から2025年以降出版することが決まっている。そこで、エリス氏滞在中の3月13日及び同14日に東京へ出張し、上記・MHM Limited社代表取締役のマーク・グレシャム氏と出版打合せを行った (13日) ほか、東京在住の執筆予定者とも打合せを行った (14日)。同書は英米を主たるマーケットとすることから、京の肩書きはもとより、エリス氏の肩書きにも「Kwansei Gakuin University Visiting Faculty AY2023 (2023年度海外客員教授)」が加わることで、英米の刑事司法研究における関西学院大学の知名度が飛躍的に向上することが期待できる。
3. 特別枠 (1) 活動内容 (2) 成果		

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

*本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます